



第18回キッズデザイン賞受賞 土間や中庭など「あそびのネットワーク」で 子ども・保護者・職員がつながる こども園

株式会社ジャクエツ(本社:福井県敦賀市/社長:徳本達郎)が設計を行った社会福祉法人 小松河福祉会 前宮そらまちこども園が特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催(後援:経済産業省・内閣府・消費者庁・こども家庭庁)の「第18回キッズデザイン賞」を受賞しました。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門 第18回キッズデザイン賞受賞



▲通路だけではなくあそび場としても使われる土間空間



▲あそびのスポット

課題

- ・効率を重視した画一的な間取りは、子どもたちの活動時間が保育室内に限定されてしまう
- ・保育室から園庭への動線や保護者の動線が入り混じってしまう

課題への取り組み

- ・視線や動線の連続性を「あそびのネットワーク」と考え、主要保育空間である保育室や遊戯室をつなぐ空間として、土間や中庭・中廊下を設けた
- ・これらのつなぐ空間に余地・余白を持たせるため、土間や廊下の幅を広く確保
- ・「あそびのネットワーク」上に設けた「あそびのスポット」には、子どもたちが寄り道・みちくさをするようにあそびを空間の中に取り入れた

地域の声

本施設が開園して2年。子どもたちが自由に体を動かせる遊具を設けた「あそびのスポット」が寄り道場所となり、余地・余白を持たせた廊下では子どもたちがみんなであそび、のびのびとした様子で過ごせています。また、L字型に設けた土間空間は、園舎内の通路としてだけではなく、子どもたちのあそびの場や、保護者同士の交流の場としても活用されており、様々な人たちとのつながりが感じられる施設になりました。

公立小学校と併設されていた保育所を平成24年に民間移管を受け、単独敷地として新たに敷地を購入し移転新築された認定こども園の設計。約3,000㎡の敷地に周囲の自然環境を活かしたゾーニング計画とし、その中心の地元産木材を用いた園舎には、余地・余白の空間を確保し、子どもたちが自由に寄り道しながら回遊・あそべるような空間を計画しました。

【株式会社ジャクエツ】

1916年に創業し、「未来は、あそびの中に。」をスローガンに掲げ、幼児施設向けの教材や遊具の製造販売から、園舎の設計施工などを行う企業です。近年では、美術館や他の公共施設、商業施設においても高品質なあそびの環境をデザインすることで、子どもたちの成長を支える未来価値を創造し続けています。

【お問い合わせ】

株式会社ジャクエツ

東京都港区高輪4丁目24-50
TEL:03-3442-2260/FAX:03-3442-2261
MAIL:press@jakuets.co.jp
広報担当者にご連絡ください。